

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～21℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり15kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり390kgの水揚げで、前週の6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり841kgの水揚げ。北松生月地区では、マサバなどが1日1統当たり1.9トンの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり382kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり188kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/9日～5/14日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚げ休漁となった。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 3日延3隻、総計63箱、1航海最高28箱、平均21箱、スルメ（30・40入）56箱、ケンサキ（入合）7箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>